

1人1台端末を利用した「遠隔・オンライン教育」の充実 ～誰一人取り残さない「令和の日本型学校教育」の実現に向けて～

義務教育課

成果 コロナ禍におけるチーム力の発揮 ⇒ ICTを活用した学校行事の実施

コロナ禍における文化祭等の学校行事において、先生方の熱意とチーム力の下、オンライン配信等の努力により、子どもたちの学びの場を保障し、大きな成果を得ることができました。このことは、学校教育に対する地域や保護者、そして何より子どもたちの信頼を得ることにつながりました。



その一方、コロナ禍における教育に対し、次のような児童生徒、保護者、地域の不安があります。

児童生徒、保護者、地域の不安の声



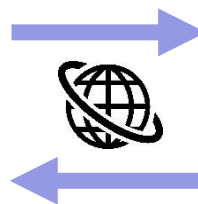
- やむを得ない事情等で学校に行けなくなった場合、私の地域の学校ではオンライン授業（学びの保障）はあるのかな…。
- 感染症や災害等で休校になったり、人数を制限した登校になったりした場合、家でオンライン授業は受けられるのかな。オンライン授業の練習をしている学校もあると聞くけれど…うまくできるかな…

中教審答申（2021.1.26）では、1人1台端末を活用して、次のことが求められています。

- ・ICTの特性を最大限活用した、不登校や病気療養等により特別な支援が必要な児童生徒に対するきめ細かな支援、個々の才能を伸ばすための高度な学びの機会の提供等【5（1）】
- ・遠隔技術等を用いた相談・指導の実施、ICTを活用した学習支援、デジタル教材等の活用を推進【6（2）⑦】

子どもたちの学力保障のための遠隔・オンライン教育が広まってきています。

学級に機器を▶
設置してオン
ライン配信。
子どもたちの
学習の権利と
機会を保障し
ています。



◀自宅から授業に参加
する様子。
授業が受けられるこ
とに対して本当に感
謝しています。

子どもたちの学力保障等を学校課題と捉え、チーム学校で解決しましょう！

遠隔・オンライン教育を推進するためのポイント

- ▶▶▶ 管理職がゴール（課題を解決した姿）とプロセス（解決の手順）を示しましょう。
- ▶▶▶ 校内にICTプロジェクトチームをつくりましょう。
- ▶▶▶ 誰もがオンライン授業をできるように校内研修を進めましょう。
（オンライン職員会議、学年会議、分掌会議、登校日、補充学習等）
- ▶▶▶ 不登校や病気療養等により特別な支援が必要な児童生徒の意向を踏まえつつ、1日1時間程度の簡単なオンライン授業等からはじめましょう。（できることから）
- ▶▶▶ 感染症や災害等での休校を想定し、オンライン授業の練習を計画しましょう。